

事務事業評価

総務常任委員会

ふるさときらめき湖南づくり寄附事業

湖南市を応援したいという思いを実現する制度であり、寄附金額に応じて、湖南市の特産品をお礼の品として贈るいわゆるふるさと納税事業

平成28年度実績

寄附額	7390万6千円
寄附件数	3020件
事業費	4163万6千円

評価結果

市事業として実施。このまま現行どおり進めることが望ましい

判定理由助言など

- 本事業は導入した限り継続し、収入率（約45.4%）の向上にこころがけ財源の確保に努力すべき
- 返礼品目的で寄附される方も見受けられるので寄附金の使途申込を明確かつ具体的に表記すること
- 返礼品育成を通して地場産業の振興、市のPRにもつなげること
- 業者委託だけに頼るだけでなく、事業全体の把握も適切に行うこと
- 新しいアイデアを盛り込み寄附件数の伸び率（約1.1%）向上に取り組みながら行政間競争に負けないよう努力すること

福祉教育常任委員会

生きがい活動支援通所事業

家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、本人の経験や知識を生かした趣味などの生きがい活動によって、介護予防を図る通所型事業

平成28年度実績

実施回数	325回
利用者	のべ2898人
事業費	1075万4千円

評価結果

市事業として実施。このまま現行どおり進めることが望ましい

判定理由助言など

- 本来、国の事業である。国は責任を持って財政支援をするべきである
- 生きがい支援施策の全体的なビジョン、考えを整理して、責任の所在を明確にするような、人的配置をもって事業を進めること
- 庁舎内の関連部局、地域を含めて連携し、ニーズの共通理解を進めること
- 自立支援型の個人ニーズ調査の実施と、利用者個人に即したサービスの提供を検討すること
- 利用者の自立度や能力などによるサービスの種類が、わかりやすい一覧表をつくること

ウツクシマツ保護事業

平松のウツクシマツ自生地に生育している天然記念物、「ウツクシマツ型」松の保護・育成

平成28年度実績

マツ本数	154本
事業費	200万1千円

（国庫補助2分の1あり）

評価結果

市事業として実施

事業を拡大して継続する必要

判定理由助言など

- 天然記念物、「市の木」としてうたっている以上、市の責任を明確にしてやるべきである
- 短期、中期、長期のそれぞれの目標を決めて進めること
- 観光行政との連携も含めた総合的な事業として取り組むべきである

産業経済常任委員会

観光推進対策事業

近隣地域により密着した形での観光諸政策を推進するとともに、多くの人を引き寄せる魅力と特色のある支援の開発、誘致宣伝に努め、地域社会発展に寄与すること。湖南三山等を市外へ向けPRすること

平成28年度実績

観光入込客数	53万6100人
湖南三山入込客数	2万3897人
事業費	3194万6千円

評価結果

市事業として実施

内容や規模を見直して継続する必要がある

判定理由助言など

事業全体

- 本市における集客の3割はイベントである。持続可能

で独自性が求められるべきであり、歴史的な文化財の活用に尽力し、特産品や工芸など魅力の発信が必要と考える

- 観光協会が市以外に企業とタイアップをするなど自主努力を評価する

〔三大まつり〕

- 補助金事業として更なる事業展開は難しいと感じるこれまで以上に企業・団体と連携を図るべき
- イベントの集約とプロデュースを市が責任をもってやるべきであり、協力者の負担軽減を考慮すること
- 夏まつりなどにおいて駐車場や道路の警備費用が多額である。駐車場利用者からイベント協力金を徴収するなど工夫が必要
- 近隣道路の交通対策も急務である。JRなど公共交通との連携を含めバスの柔軟な運行で渋滞軽減を図ること